



岡山 倉敷美観地区

大阪教職員組合 事務職員部報

Vol 671 2015.5.27 発行 大阪教職員組合事務職員部常任委員会
大阪市天王寺区東高津 7-11 大阪府教育会館 7 階
Tel. 06-6768-2330 Fax 06-6768-2239

<当面の日程>

- 6.4(木)事務職員部定期大会
(たかつガーデン たかつ西)
- 7.3(金)第2回集まれ若手 JIMU の会
(たかつガーデン)
- 8.1(土)~3(月)
全国学校事務研究集会 (奈良)

研修では聞けない話を聞け大満足！

第1回 集まれ☆若手JIMU職員の会

五月十五日、今年度第一回となる「集まれ☆若手JIMU職員の会」を開催しました。

学習会は「給与・旅費事務のここが知りたい2015」と題して、府職労教委支部より有田さんと峰松さんを講師に招き、学習しました。

講師の有田さんと峰松さんは、現在学校総務サービス課で勤務されており、学校総務サービス課の勤務の様子も交えながら府費（給与や旅費など）事務で間違えやすい点や監査などでの視点についてお話しいただきました。また、この四月より通勤手当認定の考え方や事後確認の厳格化について質問も寄せられ丁寧に回答していただきました。学校総務サービス課の四月は一日中電話対応で終わってしまうような状態ですが、正しい支給のために、わからないことがあれば遠慮なく問い合わせてください。マニュアルも読んでうまく使いこなせるようになってほしいと話されました。



など気兼ねせず何でも話せる雰囲気で大変盛り上がり、予定の時間をオーバーするほどでした。

次回の開催は七月三日（金）の予定です。ぜひご参加ください。

★感想★

・学校総務サービス課の方から貴重なお話を聞くことが出来て大変良かったです。

・楽しく情報（普段仕事をしているだけでは手に入らないもの）を得られました。

・質問しやすい形式になっていてよかったです。

・他市との交流が一番刺激になりました。

・新採のフレッシュな声、自分の一年目を思い出しました。

第72回定期大会 6月4日（木）

14時～受付
たかつガーデンたかつ西

代議員証をお忘れのないようお願いいたします。

2016 年度政府予算にむけた 文部科学省概算要求に対する要請署名 要求実現にむけ、とりくみましょう！！

文部科学省をはじめ、政府の各省庁が翌年度予算にむけておこなう概算要求は、財務省への提出が毎年8月末とされています。

全教事務職員部は、この概算要求の作成時期に合わせ、国の責任において、学校事務職員の定数改善や給与改善など労働条件の改善と、無償教育の推進を求める「要請署名」を提起し、とりくみをすすめています。

大教組事務職員部としても要請署名に積極的にとりくみ、要求実現をめざします。つきましては、各単組におかれましてもとりくみをすすめていただきますようお願いいたします。

■署名用紙：各単組に送っています。増し刷りして活用してください。

署名用紙原稿が必要な場合は常任委員まで。

■提出：署名提出行動が7月24日に予定されています。

7月21日までに大教組事務職員部までご送付ください。

教育・福祉を守ってほしいという大阪市民の判断 住民投票で大阪市廃止 反対多数！

五月十七日、大阪市では「特別区設置に関する」住民投票が行われ、大接戦の末、「反対」が「賛成」を上回り、大阪市存続が決まりました。

そもそもこの住民投票は、府議会・市議会で「大阪市を廃止し、特別区を設置する協定書」は否決されていたにもかかわらず、維新の会が首相官邸に働きかけ、無理やり実施したものです。橋下市長は大阪市の税金で住民説明会を多数開催しましたが、住民からの質問はほとんど受け付けることなく、橋下市長が一方的に話し続けるという内容でした。また大阪維新の会は4億とも言われる多額の政党助成金（元は私たちの税金）を投入し、CM放映・全国から議

員と秘書を総動員し大量宣伝を行いました。一方、「反対」を訴える自民・共産・民主などが合同演説会を行うほか、医師会や商店街の反対決議、多くの市民団体が共催した「市民集会」など広範な市民の連帯と共同が実現しました。大教組も教育・くらしを破壊する「大阪市廃止」に反対の立場で、連日街頭宣伝を行なうなど粘り強く大阪市民と対話を続けてきました。

今回の住民投票の結果は、歴史と文化のある大阪府が壊されようとしているときに、「大阪市をなんとしても守りたい」という市民の願いにこたえ、党派や立場の違いを超えた共同がもたらした大きな成果となつたこと、未来につながる貴重な成果となつたこと。



高い投票率からも多くの市民が自分たちが住む自治体のことを大切に考えて出された結果であることがわかります。今回の住民投票を教訓に、市民を失望させない今後の市政運営や政治のあり方が必要です。

現在の大阪府知事・大阪市長が任期まで務めた場合秋にW選挙が行われることとなります。府民が主人公となり安心して暮らせる政治を公務労働者として考え、求めていきましょう。

今年の夏は奈良へ！ 全国学校事務研究集会 奈良集会

暑い奈良で熱い討議を！

8月1日からは奈良に行くシ力ない！

第二十五回を迎える全国学校事務研究集会は、八月一日（土）から三日（月）の日程で、今年は奈良県での開催です。

安倍政権は「戦争立法」成立に向けて暴走を加速させるのと同時に、安倍「教育再生」の名による戦争する人づくり・自己責任社会の拡大をすすめる教育を変えようという策動があります。

いま、無償教育や民主教育の推進はたいへん重要です。学校事務職員の任務と役割、父母・国民との共同など、全国のなかまの実践を学び、議論して、さらなる学校

事務の向上をめざしましょう。

特に今年は近畿での開催です。

奈良の仲間が集会成功のために準備をすすめてくれています。大教組からは、4分科会に青年事務職員のレポート3本を含めて計4本の参加で集会を盛り上げましょう。

集会テーマ

語り合おう子どもの未来！

育てよう民主教育！

つくりだそう私たちの

学校事務！

（分科会案内）

第一分科会

「学校づくりと事務職員の役割」

第二分科会

「子どもの学習権を守るための私たちのとりくみ」

第三分科会

「ゆきとどいた教育をめざす自治体へのとりくみ」

第四分科会

「労働条件、権利を守り、安心して働き続けるために」



◇記念講演

「モンスターペアレント論を超えて」

保護者と向き合う気持ちと

教職員の共同性」

大阪大学大学院教授

小野田正利氏

◇企画

全国事務研二十五周年特別企画

パネルディスカッション

「全教事務職員部の二十五周年を振り返り、今後を展望する」

★参加は、各単組で取りまとめ、申し込み用紙に記入し、（株）日本旅行奈良支店に直接申し込んでください。宿泊施設は先着順です。なお早目にお申し込みください。

~~~~~

## 第八十六回大阪メーデー

### 「働くものの団結で！」

五月一日、扇町公園で「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をスローガンに、第八十六回大阪中央メーデーがおこなわれ、情勢を反映して多くの参加がありました。快晴の下、五月とは思えない日差しと参加者の熱気でおおいに盛り上がりしました。

「戦争する国づくり」ストップ、安倍内閣打倒、大幅賃上げ実現、労働法制改悪阻止、そして、「都構想ストップ」「橋下維新政治の打破」

労働者の怒りが集結しました。

長大なデモ行進では、みんなが「大阪市をなくすな」「都構想ノー」のカードを手にシュプレヒコールをあげました。



## ~~~単組・ブロックでのとくみから~~~

### 岸和田教組 新歓ウォーキング 5/10

まさかの難波不発弾処理の影響により、予定を1日ずらして行われることになった岸和田ウォーキングワークショップ。突然の予定変更にもかかわらず、5月10日（日）朝9：30の南海岸和田駅前には、新規採用者を含め多くの事務職員が集結しました。

「僕のGWはこれでつぶれました」との言葉に違わず超大作だった、服部部長お手製の資料（紙面でお見せできないのが残念！）を片手に、そろそろと岸和田の町を練り歩く一行。5月上旬にしては暖かすぎる日差しのもと、仕事のみならず文化・歴史さまざまな角度から岸和田という町を楽しみました。

「あの業者ってここにあったのか！」「えっ、だんじり祭りの発祥は三の丸神社なの！？」「マンサード長屋って変わった形！」「五風荘が今の形態になった経緯は・・・」「カーネーションのロケ地『かじやまち』って昔は心斎橋並みにごったがえしてたの！？」

ガイド役を務めたのもまた服部部長。まさに八面六臂の大活躍で、私が3年間働いている町なのに、まだ知らないことがたくさんあることに気付かされました。

お昼には二の丸公園でお弁当を、最後には某有名食堂で名物「氷くるみ」を食べて知識も食欲も満たされた1日でした。レクリエーションで新人さんたちの不安が少しでも解消できたなら幸いです。

（岸和田）



## 日進月歩

「大阪都」構想否決が決まった当日の橋下市長の記者会見で、やたら「民主主義は大事、すばらしい」と強調していた姿に違和感を持ったというより、この人は本当に民主主義を一面的にしか見ていないと感じた▼民主主義とは、意見の違った両者が納得のいくまで話し合い妥協点も含め、解決を追求するもので、結論がでない場合最終的に多数決で決める。一方で多数は、少数の意見も尊重するものであると教えられた▼しかし、橋下市長は自分が民意すべてであるかのように少数意見を聞かないどころか切り捨て独断的な行政運営をすすめてきた。「独裁」は反民主主義である。今回の住民投票の結果に対し、「負けは負けだから政界引退だ」という態度も橋下市長の民主主義観の表れだとも感じる。民主主義を理解していない人に民主主義を語ってほしくないと感じたのが率直な感想である▼私たちは、橋下大阪府知事就任以来彼の政策・思想の危険性など訴えてきた。しかし圧倒的な支持率のもと大阪府・市民になかなか理解してもらえず、それでも屈せず運動をすすめる、大阪「都構想」否決まで7年半の歳月を費やした。一方、住民投票の結果から今の大阪市を変えてほしいという思いが多数あるのも事実で、今後住民本位の市政、府政への転換にむけた新たなとりくみをどう共同してすすめるのかという出発点でもあると思う。

（H・H）

なお、直接申し込んでいただいた用紙は、参加者把握のため大教組事務職員部へも送付（FAX可）下さい。